



カビ退治

ジメジメした季節は浴室にカビが生えて困りますね。ポイントはこまめなお掃除と換気。カビは放っておくと被害が広がるので、早めにケアすることが大切です。

塩素系カビ取り剤と塩素系漂白剤

どちらも主成分は次亜塩素酸ナトリウムです。カビ取り剤は安全のために濃度の上限があって、漂白剤の方が濃度が高いのですが、カビ取り剤は飛び散りを防ぐために、泡やジェル状にスプレーできるので便利。また、カビが速く消えるようになっていたり、浸透しやすいなどの工夫がされています。したがって基本的には、専用のカビ取り剤を使うことをおすすめします。

Q. どうして梅雨時期になるとカビが生えるのですか？

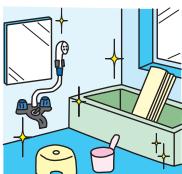
A. カビが生える条件「栄養源、湿度、温度」が揃うからです。

- 栄養源…カビが繁殖するためには栄養が必要で、ホコリや汚れなどほとんどのものが栄養源になってしまいます。
- 湿度…60%以上で繁殖。80%となればカビの天国です。
- 温度…5～45℃の間で繁殖。20度を越える梅雨の時期から活気づき、28℃前後で最も繁殖が盛んになります。

カビを防ぐ方法

●栄養源となる汚れをなくす

浴室の場合は日頃から壁や天井まで丁寧に掃除をして汚れを取っておきましょう。これがカビを防ぐ一番の方法です。石けんカスや垢、ホコリなど、カビの栄養源になってしまう汚れが全くなければ、湿気があってもカビは生えません。

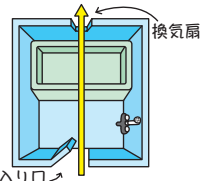


●水気を拭き取る

掃除をしたあと、乾いたタオルなどで水気をしっかり拭き取っておくと、水のカルシウム汚れが取れるうえ、湿気もなくなるのでとても効果的です。

●換気をして湿気を取る

窓を開けたり換気扇をまわして、湿気を外に出しましょう。窓は空気の入りと出口ができるよう2箇所開けるのがコツ。換気扇を回すとき、扉に換気口がない場合は扉を開けること。先に換気扇をまわしてから扉を開けると、湿気は室内側に流れません。



カビを取る方法

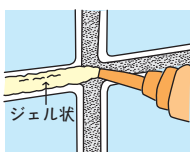
●スプレーはしっかりと泡状に

泡スプレータイプは、トリガーをゆっくり引くと泡にならずに垂れてしまうことがあります。スプレーする時は、トリガーをシュッシュッと勢よく引けば、しっかりした泡になり、垂直面にもつきやすくなります。



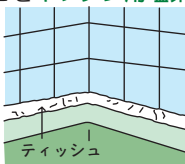
●ジェル状なら浸透効果抜群

ジェル状スプレータイプとチューブタイプがあり、タイルの目地やゴム状シールのカビ取りに最適です。周囲に飛び散らず、垂直面でも垂れにくいので浸透させる効果が高く、中まで入り込んだカビにも効果的です。



●塩素系漂白剤を使う場合

目地やシール部分のカビをキッチン用塩素系漂白剤で落としたい時は、原液をティッシュペーパーにしみ込ませ、カビ部分にのせておくのも方法。カビがひどい場合でも薄くなります。

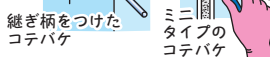


●高いところのカビ取りに注意!

スプレータイプは目に入りやすいので使えません。また、広い面積にスプレーする時は手が疲れるので、塗装用具を利用すると便利です。

●カビ取り剤をコテバケで塗る

ミニコテバケや、継ぎ柄をつけたコテバケにカビ取り剤をスプレーし、これで塗っていく方法もおすすめです。



●デコボコ面にはローラーバケ

天井などのデコボコした面には、継ぎ柄をつけたローラーバケが便利。カビ取り剤をスプレーし、ゴム手袋をつけた手でなじませ、こすらずだけでOK。



●脱色や変色に注意!

カビ取り剤は、浴槽や金具、木、輸入タイルなどを変色させることがあります。隅で試したり、シートで覆っておきましょう。作業中はゴム手袋をはめ、衣服の注意も必要です。

カビ取り剤は必ず換気しながら使用し、こすらないこと。つけてしばらくおいてから水で洗い流します。

浴室や洗面所、キッチンなどで継ぎ目や目地を埋めているゴム状のシール。ここの汚れが落ちない時はシールをやり直すとキレイになります。

汚れたゴム状のシールは…

掃除 → カビ取り → 充てん剤埋めなおし の順で試します

<掃除> 表面の軽い汚れ→掃除用洗剤をつけてこすり洗い。

<カビ取り> 落ちない黒ずんだカビ汚れ→カビ取り剤を使います。(台所用の塩素系漂白剤でも落とせ、原液ならより強力。ただし、使いやすさは **カビ取りスプレー** が最適です。)

<充填剤埋めなおし>

「掃除」・「カビ取り」でも落ちない時に「シリコン系充てん剤の埋めなおし」をおすすめします。

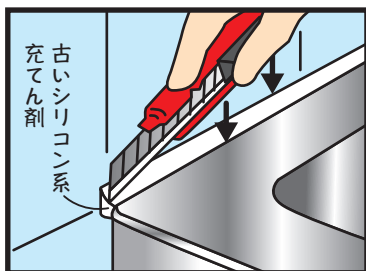
カビ取りスプレー

一般的なカビ取りスプレーを使う時は、換気を忘れずに行うこと。泡を吹きつけたらこすらずに、規定の時間をおいて洗い流します。目の高さよりも上に使ってはいけないことも重要なポイント。壁の高いところや天井は、塗装用具のコテバケやローラーバケにつけて塗るようにします。

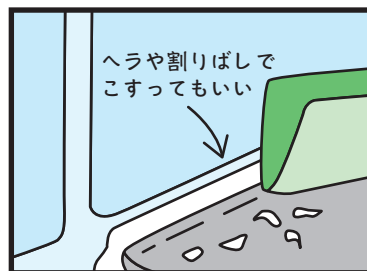
古いゴム状のシールのはがし方

1 浴槽と壁の隙間のシールの場合、浴槽側、壁側ともに、カッターの刃をぴったり当てて切ります。

※ポリ浴槽にキズがつきにくい、強化プラスチック製の**専用カッター**もございます。

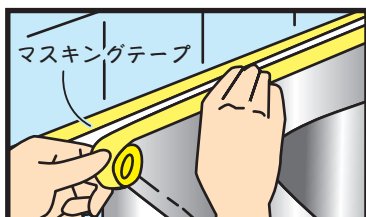


2 残ったシールはカッターの刃先や裏側の刃のない部分、プラスチックのヘラや竹簀などで丁寧にこすり落とします。細かい部分はペンジンで拭くのも効果的です。隙間にはがしたシールが落ちるのが気になる時は、掃除機で吸い取りながら作業するとよいでしょう。

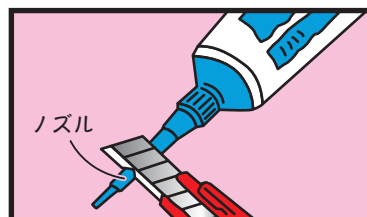


シリコン系充てん剤で埋める

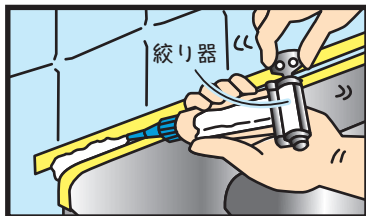
1 埋める部分の汚れをきれいに拭き取り、乾かしておきます。埋める隙間を残して両側に**マスキングテープ**を貼っておきます。



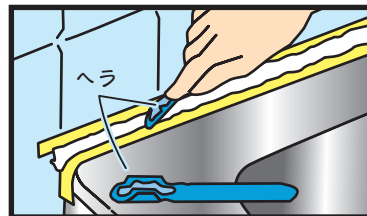
2 ノズル付きの充てん剤の場合は、ノズルを隙間の幅に合わせてカッターで切ります。



3 ノズルを隙間に軽く押しつけて、少し多めに絞り出しながら埋めていきます。



4 ヘラを隙間にぴったり立てて当て、余分な充てん剤をかきとるように一気にスプツとならします。隙間からはみ出た充てん剤は、マスキングテープをはがせば隙間だけすっきりきれいに埋まります。



●半日たてばお湯がかかっても大丈夫なので入浴できますが、さわったり、つついたりしないようにします。

※緑の文字は、アヤハディオで取り扱っている商品です。

※掲載商品は予告なく変更する場合がございます。[禁複製]



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

アヤハディオアプリ 会員募集中!



**アヤカ
ポイントも
貯まる!**

Point
ポイント
カード
機能

クーポン

最新チラシ

店舗検索

アヤハディオ
ネットショッピング

アプリ
ダウンロードは
こちら▶▶



Download on the
App Store



ANDROID APP ON
Google play

